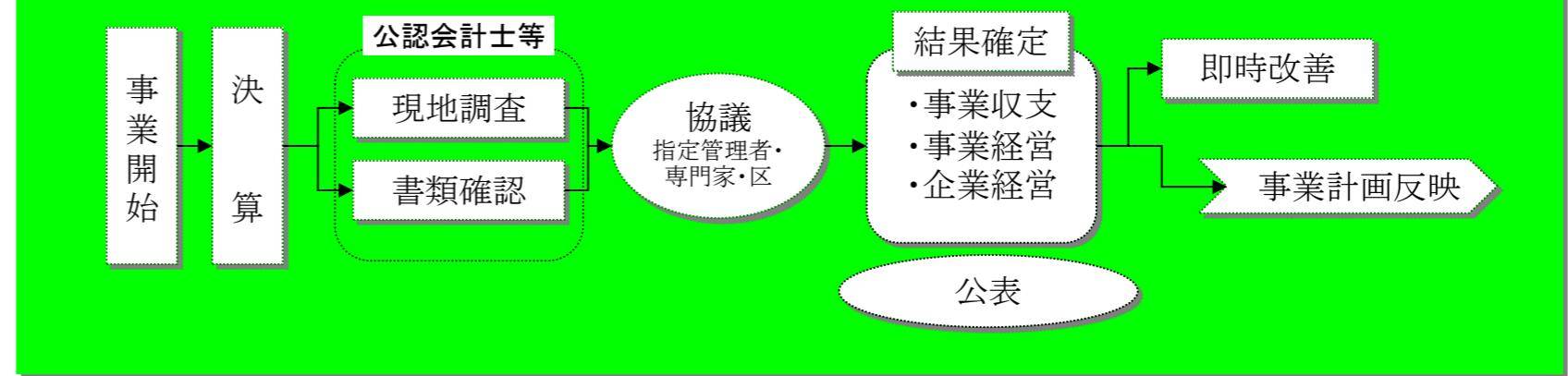


# 令和元年度 ジョブ・サポート・プラザ ちよだ 経営財務モニタリング

## 1 経営・財務モニタリングの概要

- 対象: 千代田区立障害者就労支援施設 (ジョブ・サポート・プラザ ちよだ)
- 方法: 福祉サービス第三者評価を行っている事業者(株式会社RUDEC)による財務状況、現地聞き取り調査等による経営状況の分析
- 視点: 財務状況、経営状況、課題及び改善点

## 2 モニタリングの流れ



## 3 経営・財務分析

### ○ 利用者数の推移

事業種類	項目	平成28年度			平成29年度			平成30年度		
		上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間
就労移行支援	定員(人)	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	平均利用者数(人)	3	2.5	2.8	3	3	3	1.3	1	1.2
	利用率(%)	50	41.7	45.8	50.0	50.0	50.0	21.7	16.7	20
就労継続支援B型	定員(人)	29	29	29	24	24	24	24	24	24
	平均利用者数(人)	23	23	23	16.8	16.2	16.5	17.3	17.0	17.2
	利用率(%)	79.3	79.3	79.3	70	67.5	68.8	72.1	70.8	71.7
生活介護	定員(人)	—	—	—	10	10	10	10	10	10
	平均利用者数(人)	—	—	—	8.2	9	8.6	9	9	9
	利用率(%)	—	—	—	82	90	85.8	90	90	90

### ○ 指定管理者導入による区支払額の予算・実績 対比

平成28年度 (単位 千円)

	予算	実績	対比
区就労支援施設運営受託収入	23,540	23,540	0
自立支援費収入	44,200	39,596	4,604
合計	67,740	63,136	4,604

平成29年度 (単位 千円)

	予算	実績	対比
区就労支援施設運営受託収入	28,540	28,528	12
自立支援費収入	46,500	45,258	1,242
合計	75,040	73,786	1,254

平成30年度 (単位 千円)

	予算	実績	対比
区就労支援施設運営受託収入	28,540	29,428	-888
自立支援費収入	46,500	45,411	1,089
合計	75,040	74,839	201

## 4 提言・アドバイス(事業の改善策)

### (1) 財務状況

#### 【課題・結果】

・ジョブ・サポート・プラザちよだの財務状況は概ね健全で安定している。ただし、就労移行支援事業の新規利用者がなく、就労継続支援B型事業の利用者が減少し、その分生活介護事業が新設されるなど事業構造のシフトが見られる。利用者の高齢化・重度化によるものと思われるが、転換期にある点を理解した上で、利用率の向上や新規利用者獲得に向けて一層の努力を期待する。

・ジョブ・サポート・プラザちよだの事業収入はこの3年で本体収入のサービス事業等事業収入は増加傾向にある。事業者としても、事業を取り巻く課題を抽出して検討し、対策に取り組んでいる。今後の安定的な運営につながる方策のさらなる検討・実行を望みたい。

・平成30年度末の当期末支払資金残高等の数字を確認する限り、当面の問題はないと思われる。

#### 【振り返り・今後の方向性】

・法人全体で捉えてみると、本部には毎年多額の寄付収入があるが、ジョブ・サポート・プラザちよだ単体の事業運営としては、中期経営計画を策定する等、さらなる安定した事業運営のための体制整備が期待される。

・利用者の重度化・高齢化にともなう支援の拡充のための必要な施設の整備とともに、地域に対する認知度を高める取り組み等に務めているが、他自治体への声掛け、他組織との情報共有・連携等強化による現状の共通課題に取り組むなど、利用者数増加に取り組まれない。

・恵まれた環境の中で、利用者の意向・希望を把握して利用者支援、事業運営に務めているが、将来を見据えた積極的な事業展開を法人全体でとらえ、さらに健全で安定的な財務体質につなげていけるように、中・長期計画を策定し、さらなる体制の整備に期待したい。

### (2) 経営状況

#### 【職員の意識】

・職員の意識調査によると、諸項目に対して「わからない」という回答が少なからず見受けられた。職員の自主性や創造性をいかに高めていくかが、これからの順調な事業所運営に繋がっていくと考えられる。

#### 【リスクマネジメント】

- ・次のようなリスク・苦情対策が行われており、常時注意が払われている。
  1. 次の緊急時対応マニュアルがあり、毎年改訂を行っている。
    - ①地震発生時対応②荒天時(警報、注意報発令)対応
    - 感染症(インフルエンザ、風疹、ノロウィルス)発生時対応
  2. 防災訓練は年間3回実施している。
  3. 保護者用の報告書を毎年作成し、配布している。
  4. 利用者の重度化による突発的な行動に対する予防的な対応、加齢に伴う安全管理等一層の配慮が行われており、個々の利用者が安定して過ごせるよう、日課調整や環境整備に気をつけている。
  5. リスク管理の重要性が認識され、事故や苦情に繋がる可能性のある情報ほど迅速に報告し適切に対応できるよう習慣化されている。
  6. ヒヤリ・ハット事例や苦情は毎日の朝会等で報告され職員間での情報の共有がなされている。
  7. 第三者委員による事業所訪問により、利用者からの意見収集や支援状況など苦情解決制度を整備している。

#### 【接遇マナー】

・全体的に、接遇マナーは良好であるといえる。平成28年に接遇マナーに関する研修を行って以降、よりテーマを掘り下げる形で毎年利用者や家族への対応姿勢を考える研修を行っている。今後も利用者との接点である接遇マナーの重要性をよく認識し、豊富な経験を持つ職員が多い強みを活かし、ノウハウの蓄積や継続的な研修等を通じて研鑽に努めることを期待する。